● *Captain Interview No. 15*

コンニチワ●船長さん

ケソン号〈フイリッピン〉貨物船
フエデリコ・J・ダマスコ船長

きく人／玉奥　章
カメラ／浜岡　収

フイリッピン・プレシデント・ケソン号（M/S Philippine President Quezon）は、九九六三重量トンの真黒な巨体を神戸港第四突堤に横たえ荷上げの真最中だ。その船腹に白ペンキで、UNITED PHILIPPINE LINES と大書してあり、船尾のフイリッピンの旗が風になびいている。水銀柱も上りっぱなしで、とにもかくにも暑い。暑い国からのお客様だからかな？　などおもいつつ、シー・エフ・シャープ・コンパニーの酒井孝治さんとキャプテンを待つことしばし。やがて半袖の真白い防暑服に肩章をひからせながら、小柄だがガッシリとした体軀のキャプテン・フエデリコ・ダマスコ（Capt. Federico J. Damasco）がにこやかに「グッド・モーニング！　ハウアーユー？（椅子をすすめながら）パインジュース・プリーズ」と、すでに運びこまれたパイン

ジュースをすすめる。編集子のさしだす〝神戸っ子〟を手にとってパラパラと頁を繰りながら「オオ、ベリーナイス」とひとしきりほめそやすソツのなさ。

「ケソン号は、マニラをでて、香港、日本、ロスアンゼルス、パナマ運河をとおり、ニューヨークからイーストコースの各ハーバーをまわり、またパナマをぬけ、中南米、サンフランシスコ、香港、マニラと一〇五日間の航海です。ワイフが淋しいですかって？　ハハハ…。まあね。私？　ハハハ…。私たちシーマンは港が恋人ですよ。ですから別段淋しいとは思いません。有給休暇が年に十五日あるんですよ。でもね、陸にいるとすぐ海へもどりたくなりましてね。私のこの血の中に海の潮がしみこんでしまってるんじゃないかとさえ考えるほどです。マニラへ帰ると、フイリッピンの港々を十日間かかってまわるのですが、この航海中、ワイフと一緒に船にいることができるようになっているのでね」キャプテン・ダマスコの顔がグーンと嬉しそうになった。一九一一年十一月、パナイ島のイロイロで生まれたというキャプテンは、子供の時から海が大好きで、そのうえ、家族の中で誰もシーマンになったものがいなかったし、彼のお父さんは、陸軍の軍人だった関係から、なんとしてもシーマンになってやろうと幼な心に決意をしていたという。

「国立の高等商船学校を卒業して、晴れてシーマンの第一歩をふみだしたのですが、いやあもうさんざんでね。最初乗組んだのが沿岸航路の小さな船でしょ。朝早くから、甲板洗いや暇をみてはのペンキ塗りで雑務ばかり。まったく夢と現実の相違でうんざりだった。ハハハ…（笑い方がホントに楽しそう）あまり情けなかったので空軍にはいり、パイロットになろうとしたんだが、これもまたどうしたことか雑務ばかり。四年間いたが、いつまでたってもパイロットになれそうにない。こりゃいかんというので、また海に帰ってきたよ。ハハハ…。海はやはりよかったね」

三等航海士の頃、マニラ―香港間の勤務だったが、船酔いには大分苦しめられたという。この時も、マニラをでると、波が高く荒れだし飲まず食わずの生活で、その船のキャプテンに怒鳴られながら当直もこなしたが、吐くものがなく胃液ばかりだしつづけ、寝ることも、飲むことも、食べることもできなかったという。

「その人の体質にもよるのでしょうがね。ブランコに乗れれば大丈夫ですよ。私の場合、一航海終れば不思議に酔わなくなりましたね。タイフーン？　いや、こわいね。あれはいつだったかな。フロリダからニューヨークにむけて航海している時、二つのハリケーンにかこまれて、船がゆれて困った。新造船だからよかったようなものの、オンボロ船だったら沈んでますよ。伊勢湾台風の時は名古屋港外にいて、私の船のまわりにいた五隻がのしあげてました。とてもじゃないが、風雨に顔をむけていられなかった。オオ・イエス・アイム・ベリー・ラッキー」

神戸港には、一九四九年来のおなじみで、三カ月毎に入港し、一九六四年、フイリッピン・プレシデント・キリノ号のキャプテン、ダマスコとして神戸港に入港、少年時代の夢を実現した。「神戸港はすばらしい！　港としての設備もよく整っているし労務者も友好的だ。神戸へ来るたびに、神戸全体が進歩発展しているようです。ニューポートホテルの前の噴水はとてもいいね。もっとあのような設備をふやしてほしいなあ。神戸は長年来ているせいか、私は神戸が好きです。だから賞賛するよりほか道はないんですよ。港についてのサゼッション？　なんといっても、岸壁をもっとふやしてほしい。アメリカは別としても、岸壁をふやせば集中配船でなやむこともないと思うし、われわれもまた大助りですから…。マニラ湾？　イエス、イエス（目を細めて）すばらしい眺めですよ。天気のよい日は特にね」ケソン号は、浦賀造船所で誕生したが、フイリッピンでは、日本を手本にして海運国となるべく船腹をふやしているそうだ。

「本船のほかに十二隻日本で造っています。これからも仲良くしましょう。それじゃご機嫌よう。アデュース（一般にいわれているさよなら）今一つマブハイ（mabuhay）（親しい中でのさよならの意）」　提供　神戸銀行

KOBE YOUNG MEN'S JOURNAL

まかり通るIVY族

今年は昨年の「みゆき族」にかわる存在として「アイビー族」または「マドラス族」が新風俗として登場し、青少年問題の一つであるかのように論議されている。

神戸でもセンター街、元町をゆく学生スタイルは「アイビー・ルック」が非常に多く見られるようになった。角帽につめえりの姿など、見たくともマレ。今夏はことにインディア・マドラスと呼ぶ若々しいチェックのシャツにジーパンスタイル、またスポーツジャケットを着こなしてデイトしている学生姿をしばしば見かける。

さて「アイビー族とは何ぞや」……？

9月11日（土曜日）午後6時より神戸国際会館大ホールでセンター街「マック」〈若人の服飾店〉主催で、アイビー教の教祖石津謙介製作によるドキュメンタリー映画「テイク・アイビー」が公開上映される。

この映画の狙いは、社会問題にまでなりつつある日本の「アイビー族」に対しての、明解な解答と指針を与えようというもの。「アイビー族」への懸念をもたれる人は一見を要するものといえよう。

映画「テイク・アイビー」は、本年5月中旬より6月上旬までの約1カ月にわたり現地ロケを行ったもので、監督の小沢協は俳優陣の小沢栄太郎氏を父に持つ新進ディレクター。海外生活も永く、新しい角度から本場「アイビー族」の生活を捉えた記録映画である。

アメリカ建国以来の古い歴史と伝統を誇るアイビー・リーグ8校ハーバード〈一六三六年創立〉、エール〈一七〇一年創立〉、ペンシルバニア〈一七四〇年創立〉、プリンストン〈一七四六年創立〉、コロンビア〈一七五四年創立〉、ブラウン〈一七六四年創立〉、ダートマス〈一七六九年創立〉、コーネル〈一八五二年創立〉を描写し、アイビーリーガーと呼ばれる学生たちの生活を克明に記録。一部はアイビーリーグ諸校、およびアイビー・リーガーたちのキャンパス生活を描写。

二部は「ニューヨークN・Y」と題されて、摩天楼のそびえ立つ大都会と、その激しい生存競争の中で活躍するアイビー卒業生たちの姿をとらえている。

音楽担当は、この六月約一年間のニューヨーク生活に終止符をうって帰国したばかりの中村八大で、ちょうどニューヨーク滞在中に「テイク・アイビー」撮影隊一行よりこの話を聞き、彼のアメリカ生活の経験をいかした映画音楽を書くことを約束し、帰国後早速この仕事に着手、モダンジャズの感を生かしたユニークな音楽を完成しているとのことである。

政界、財界、学界に多くの人材を輩出し、アメリカのエリートといわれているアイビー・リーガーと、「アイビー」をカッコよいとまねするだけの若ものや、一部からは不良少年のようにいわれだし、東京では社会問題になりつつある日本の「アイビー族」とはどこがどう違うかがこの映画からうかがえよう。

秋のIVYスタイル

花時計の花もすっかり初秋の草花に模様がえされた神戸。若い人に人気のあるセンター街のMACをたずねて、今秋のヤング・ガイ・モードを紹介してもらった。

★右の写真はレイヤード・ルック（重ね着スタイル）左の服は白いタートル・ネック（¥2,000）、ローボタンのカーディガン（¥2,800）、コットンパンツ（¥2,300）シューカー（¥1,250）、タートルネックとカーディガン、スラックスの色の組み合わせを変化させて全体を一つのハーモニーとして楽しむのも上手なおシャレといえよう。右の服装はIVYシャツ（¥1,500）、セーター（¥2,000）、ウールのスラックス（¥3,900）、チャッカー・ブーツ（¥4,800）、の組合わせ。

★左の写真は、IVYスーツ（¥15,000）、IVYシャツ（¥1,700）、レジメンタル・タイ（¥1,000）、ウイング・チップ（¥4,800）、絹のポケット・チーフ（¥450）。若者のダーク・スーツはP・T・Oに合わせて何気なく着こなしていくのがコツ。

mac—ivy—festival

ヤングマン集合！　神戸で初めてのアイビーの集い

お待たせしました　マック　フレンドのみなさま　マックの企画で初秋の宵にMAC IVY FESTIVALをひらく事になりました　IVYの伝統あるアメリカ８大学めぐりの現地撮影映画を上映いたします　ぜひ多数ご来場下さい　＊ご招待券はMAC５店で用意しています＊

プログラム

VAN JAC製作総天然色映画
「テイク・アイビー」

お話●VAN K.K企画部長　石津祥介氏
楽団演奏●関西学院大学　甲南大学協力出演
秋冬物商品の展示会●テイクアイビーのスチール展
日時●９月11日〈土〉　PM６：00～９：00
場所●神戸国際会館大ホール

協賛●VAN JAC

三宮本店・トアロード店・新開地店・
姫路店・京都店・

マック

Mode of Kobe

＊諏訪山の坂道で

晩夏から初秋へかけての

セパレーツ

福富芳美

〈神戸ドレスメーカー女学院院長・大丸顧問デザイナー〉

県庁から坂道をのぼりつめると、
諏訪山の青や赤のエキゾチックな洋館の屋根が神戸の街を見降しています。
夕暮れどきは、石だたみの坂道をコリーがゆったり歩くかと思うと、
チンがひょうきんに走ったり、色々なワン公の散歩姿を見かけます。
今月はおよばれにも、散歩にも着られる夏の終りから初秋にかけての
セパレーツをご紹介しましょう。
写真のセパレーツは、黒地に濃いピンクやグリーン、黄、白などの花模様が
ロマンチックに描かれたウールクレープを使いました。
上着はダブルの打ち合わせで、袖は八分。
今流行している細い共地のベルトがウエストをしめてアクセントになっています。
下のブラウスはハイウエストをゆるやかなV字型できりかえて
白地と黒のプリント地のコントラストをねらい、若々しくモダンな感じです。
スカートは花がゆれているような軽いフレヤースカート。
衿は上着。ブラウスとも衿なしですっきりさせました。
下のブラウスとフレヤースカートのスタイルは、
夕暮れの散歩着などに気軽に着こなせて、上着をきるとちょっとしたおよばれ着にもなります。
セパレーツの特長は何といっても〝組み合わせ〟の楽しさ。
色や布地の組み合わせを自分のセンスで幾通りにも着こなせます。
デザインをなるべくシンプルなスッキリしたものにして
組み合わせのしやすいように気をつけましょう。

今月のモデルのお嬢さんは**磯田美代子**さん(19才)。

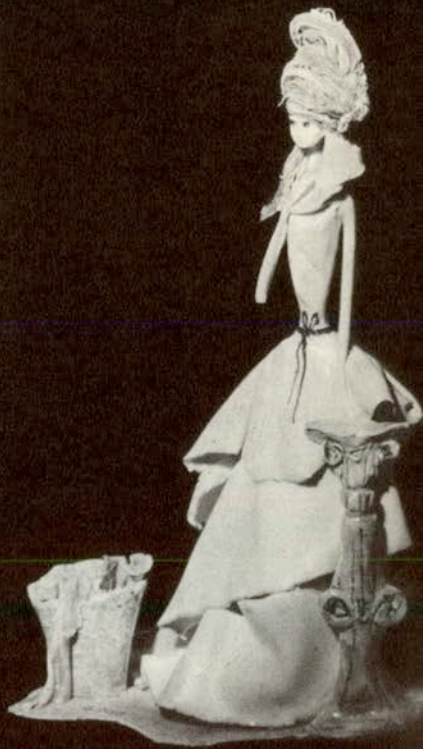
神戸に本社をおく「ニッケ」の玄関のドアをおすと彼女の可愛いい笑顔がお客様を迎えます。
湊川高校を出て2年目になる受付の仕事は難かしいけれどもやりがいがあるとか。
「ドングリ・コーラスというグループに入って須磨まで週一回出かけて唄うのがトテモ楽しい」と
明るく、ナイーブな感じのするお嬢さんです。

パリの空から風船旅行で
美しい人形たちを運んできました

—— 高級舶来雑貨とステッキの店 ——

ステッキ オカダ

三宮生田筋
TEL㊐1198



Céromique d' Art

8月の髪

バーグ〈波〉

西野　明〈ヘヤーデザイナー〉

ダイナミックにうねる夏の波
ぎらぎらと激しい太陽に
表情をかえる波の感じを
テーマにしてみました
ネックは涼しく髪を一方に流して
サイドからフロントへつながらせ
フロントは横へながし
上方でキックアップ
しぶきのはねる波と
あくまでも柔らかい髪が
立体感をもたせるように
トップに大きなうねりの波を見せ
ています。
夏の夜のパーティーなどに
若いミセス向きの
モダンなヘヤースタイルです。
カメラ／杉尾友士郎

六甲高山植物園に咲くコマクサ

センスあふれるべっ甲

太田鼈甲店

元町通1丁目 ㉝6195

オモチャの店

カメヤ

元町通3丁目㉝0090
元町通1丁目㊴0768
三宮センター街㊴4969

舶来服飾

マルエス

元町通3丁目 ㉝6541

紳士シャツ

大和屋のシャツ

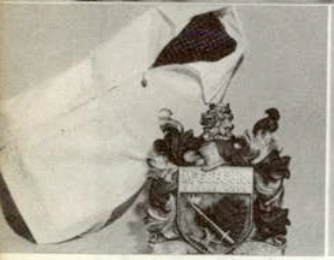
三宮センター街 ㉝6956

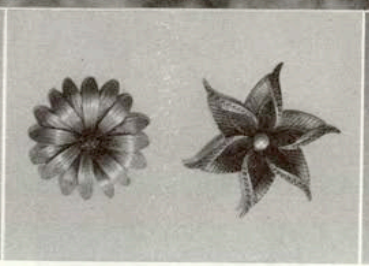
白い小さな花が咲く
山の岩場に
そっと咲く
その名を人は
コマクサと呼ぶ

守らるべきもの
コマクサよ
風に吹かれて冷たいか

祈りをこめて山男は
花のまわりに
小さな石を積みあげる

コマクサは
山の岩場に
そっと咲く
山男の心に
そっと咲く
白い小さな花が咲く





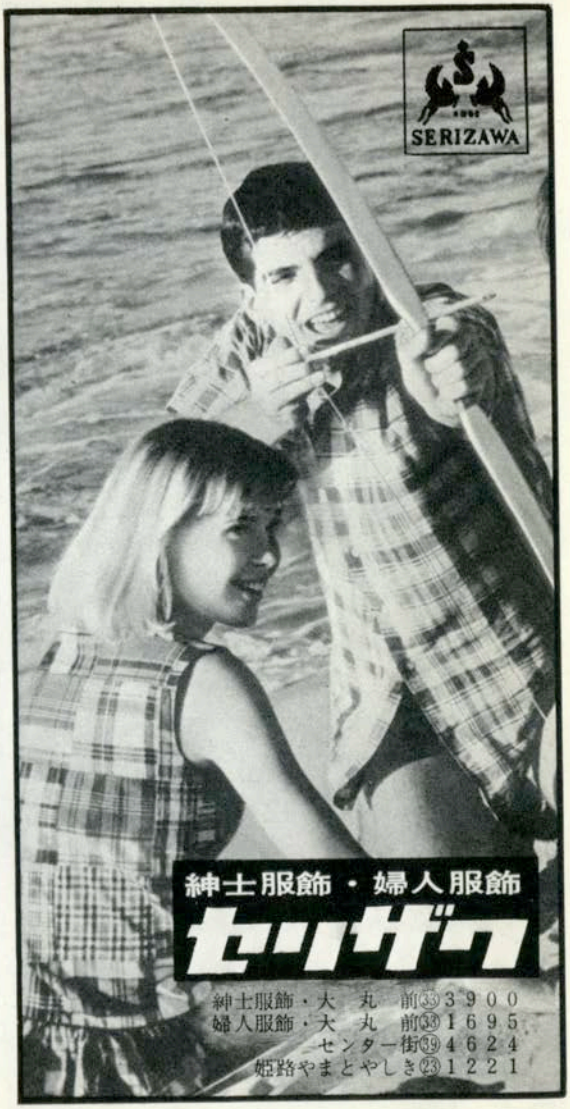
紳士洋品の店
サ　カ　エ
元町通2丁目 ㉝7885

男子洋品の店
フ　ナ　キ　ヤ
元町通3丁目 ㉝3617

FASHION ACCESSORY
AKIRA
三宮センター街 ㊴4895

あらゆる電気製品の店
元　町　電　機
元町通6丁目 ㉞3701～5

♥
エレガントなあなたに
すてきなランジェリー
ブラウス・セーター
ランジェリー・ハンカチ
SUGIYA
トアロード市電大丸電停前
TEL㉝3436

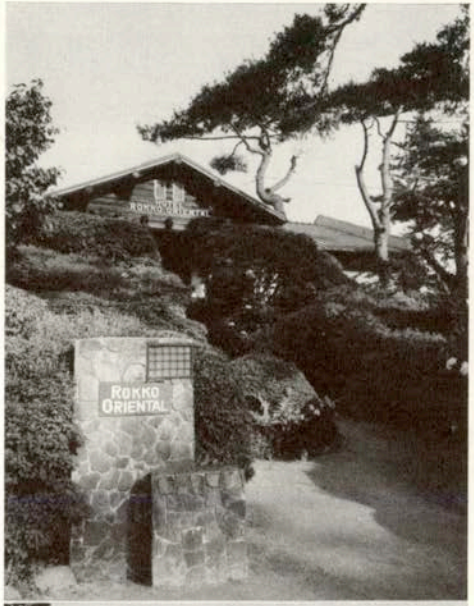

SERIZAWA
紳士服飾・婦人服飾
セリザワ
紳士服飾・大　丸　前㉟３９００
婦人服飾・大　丸　前㉝１６９５
センター街㊴４６２４
姫路やまとやしき㉓１２２１

THE DOOR MAN of ORIENTAL HOTEL Ⅱ

野趣あふれるジンギスカン鍋

自然の美しさや雄大さの中で、きれいな空気を吸い、健康な、うるおいのある暮しを味わいたいという気持は、都会人にとって、ストレス解消のあく事のない欲望であろう。それを六甲山は、リラックスに解決してくれる山上随一の景勝の地にある六甲オリエンタルホテルは、伝統を誇るオリエンタルホテル直営の、山のホテルらしい雰囲気を持った都会人の〝オアシス〟。夏季には、市街の気温よりも、八・九度も涼しい山上である。大阪・神戸で会議を開く場合、会議がすむとその夜六甲オリエンタルホテルに宿泊し、百万ドルの夜景を見下ろし、名物料理ジンギスカン鍋で山の気分を満喫させることは、名幹事としての心構えだといわれている。

もともとジンギスカン鍋は、野趣あふれるモンゴールの料理で、干した羊肉を兜であぶって賞味したものである。それが中国に伝わって、さらにそれが日本に導入された。六甲オリエンタルホテルのジンギスカン鍋は、まず魚（サハラや海老）豚肉とコースが進められ最後に青ネギ、玉ネギ、椎茸、ピーマンなどといった山の幸が焼かれ、幕の内に添えてめしあがっていただく。最後に口直しして、フルコース式のジンギスカン鍋が終る。〈一、〇〇〇円　一、二〇〇円　一、五〇〇円　二、〇〇〇円〉その他、ご家族連れやデートを楽しむ恋人達も多い。折目正しいボーイさんが、後にひかえてのゆき届いたサービスは、さすがはオリエンタルホテルだと定評がある。シックなムードにジンギスカン鍋の野趣が加わって、ムード満点。また、気軽るに利用できるようにバーベキュー（一品一五〇円より）も用意されている。



★ROOMS

お一人室……二、〇〇〇円より
お二人室……二、二〇〇円より
お一人室（バス付）……二、七〇〇円より
お二人室（バス付）……三、〇〇〇円より

★MEALS

ご朝食……四五〇円
ご昼食……八〇〇円
ご夕食……一、〇〇〇円～一、二〇〇円
他に一品料理のご用意もございます。

★ご予約

六甲オリエンタルホテル
TEL 神戸㊽〇三三一・〇三三四
神戸オリエンタルホテル
TEL 神戸㉝八一一一

〈写真は表六甲ドライブウェイ〉

パリ通信 ⑫
イタリア二等切符の旅

佐藤　昭年
（装飾美術部門留学生
在パリ）

フローレンスで出会った外大仏語専攻の学生が「これだけあれば充分です。この中からイタリア料理のお好きなものをご注文なされば よいでしょう」と紙のナプキンに書いてくれたイタリア料理メニューの翻訳は、北イタリアから南のシシリー島まで随分役に立った人生、楽しみの比重を食生活に大きくかけているということは、イタリア訪問以前より聞き知っていたことであったが、度々利用した大衆（トラトリア）レストランで、なお一層その感を深くした。街の食料品店を覗いても、スパゲッティはその太さに応じて細かく番号で分類されてあるし、一般家庭でも、こと食事に関しては極めて熱心なのだろうと考える。因みにエンゲル係数はヨーロッパ一般の三五%～四二%に比べ、イタリアでは五〇%を越えている。低所得ということも原因となるのだろうが、食生活の充実ぶり、一日一人あたりのカロリーの摂取量が二七五〇カロリーと日本の二三〇〇カロリーに比べぐっと差をつけているのは何を物語るか。〝あゝ食欲〟である。

「日本人、これを食べたことがあるか」と自分の皿の料理を指してイタリアの味を自慢する愛国者に何度出会ったことか。お前はフォークの使い方がうまいとか、日本ではイタリア料理の人気はどうかとか、取り囲まれて見つめられては、こちらのペースもぐっと落ちる。陽気なことはアメリカ人以上で、見知らぬ人と友人になることにかけては最大公約数的見方でも、世界で上位にランクされよう。

「今何時ですか」「××時です」。

「あゝそうですか、私の時計と同じです。お茶、ご一緒に如何です」とやるから、事情通でない第三者にみられると誤解も生じる。

しかしこの国にも陽のあたらぬ場が多い。北イタリアでは、ダブルのコート、ソフトまで被った小学生が、完全紳士の様相で、教科書を抱えて登・下校するのを見かけたのに、ナポリ以南になると、子供達は小さな労働力で、喫茶店の出前もちから物売りまで、タバコをかっこよくふかして、こちらは生活の上で一人前なのだろう。こんな子供達が圧倒的に多い。

ある学生は、技術系大学を卒業すると初任給二〇万リラ（一リラ＝約五八円）というから、この国の物価からしてかなりの生活が保証されているわけである。ポケットから魅力的なイタリア娘（シニョリナ）の写真を出して見せ、彼女とは、二・三年先に結婚するという。二・三年とは永いではないか。その給料では生活が出来ないとでも云うのかと聞くと、お互い、相手の観察を充分にしないと後悔が大きいと、この彼、一般的イタリア人らしからぬことを云った。

服部メガネ店

美しい＊正確なメガネ／大丸前　ＴＥＬ（33）１１２３

写真左より★フランス製 シヤレード変型￥3,300★フランス製プラスチック￥8,500★フランス製プラスチック￥7,500

Variety of Life No. 18

——暮しのバラエティ——

夏をたのしむ

サングラスと山の小道具

フランス製　¥3,800

真夏の太陽をうけ、緑を色こく繁らせて連なる六甲の山々。都会の猛暑をのがれて緑の木蔭に涼を求める人々は六甲山へあがります。

今月の〝暮しのバラエティ〟は、大丸前にある眼鏡の**専門店〝服部眼鏡店〟**に**西村美代子**さんをおたずねしてサングラスと山歩きのための小道具について、お話をうかがいました。

＊サングラスの今夏の流行

この夏はサングラスが非常に流行しています。もうこの頃ではサングラスはアクセサリーとしてではなく、生活の必需品として上手にかけこなされてきました。種類も多く、イタリー・フランス・ドイツ・アメリカなどの輸入品も豊富に出まわっています。

映画〝ある晴れた朝突然に〟で主演女優がかけていた白い枠の殆んど顔がかくれる位に大きいサングラスが話題を呼んでいますが、これは日本人には少しムリでしょう。今夏はシャレード型を日本人に合うように改良したものが、相かわらず人気があります。紳士向きには横から光線が入らないように、レンズがカーブした型が評判になっています。大きさは男女とも大型のものが好まれています。レンズの色は茶、スモーク（薄墨色）が主力となり、去年まで人気のあったグリーンスモークはやや後退しています。レンズの色の濃度は一号から四号までであり、二号のものが一般的。

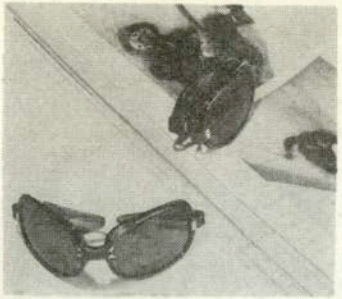
＊品質を誇るドイツのサングラス

レンズといえば世界的に有名なのがドイツのツアイス社です。同社のサングラス用レンズ、ウムブラ・プンクタールは、有害な光線をさえぎり、眼を保護するすぐれた働きをもっています。又、非常に軽くてレンズの色は茶色ですので日本人の顔によくマッチします。このウンムラールの度付きは視力に合わせたレンズの上に、ウン

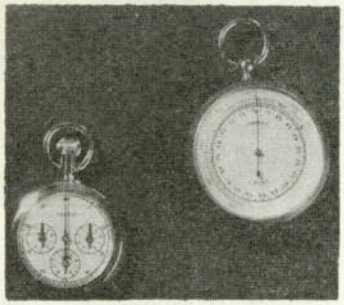
ムラール層が熔着されているためにこれまでのように中心が白くなく、普通のサングラスと少しも違いません。フレームもあきのこないスッキリしたデザインでかけ心地も満点です。いつも眼鏡をかけていられる方のサングラスとして、品質からいってもオシャレの点からもベストだといえます。お値段は四、〇〇〇円から。度付きで六、四〇〇円から。(レンズのみ)

＊ **メガネのパリモード**

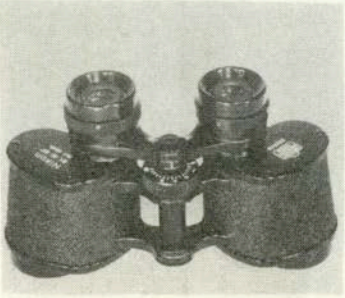
新しいものがお好きな方には、新素材モノマーで作られたプラスティック製のサングラスはいかがでしょう。これはメガネのパリモードと呼ばれるフランスのオルマレンズを使用しています。このレンズはガラスと同じ透明度をもち、プラスティックですので軽くわれにくく、眼鏡をはずしても跡はつきません。しかも加工がしやすいので思いのままの漸新なデザインのものを作れます。携帯用の折りたたみ式のサングラスもあります。お値段は五、〇〇〇円―一〇、〇〇〇円。残念ながら度のついたものはありません。



携帯用 折たたみ式
フランス製 ¥2,800



左 高度計 ¥8,500
右 歩数計 ¥7,500



双眼鏡 NIKON ¥16,800

＊ **偏光レンズ・ポラロイドグラス**

海や山などで私たちの眼を疲らせる反射光線は、普通の光線とはちがい偏光とよばれる特別な光線です。ポラロイドグラスはこの反射光線を吸収するので、ギラギラが消えて色が自然にみえます。お値段は二、〇〇〇円から。度付き一六、〇〇〇円。スキー用・ドライブ用に最適。

アストロマティック・レンズは明るい所では自動的にレンズの作用で暗くなり、暗い所では明るくなります。車の運転をしている方で、時々あざやかなオレンジ色のメガネをしている人がありますが、あれがアストロマティック・レンズです。

＊ **山歩きの小道具**

夏の一日、気の合ったグループで出かける楽しいハイキングに方向磁針・高度計・歩数計・双眼鏡などもお伴に加えてください。今、自分達がいる所はどの位の高さなのか、またどの位の道程を歩いてきたのかと皆で話し合うのも楽しみの一つになります。

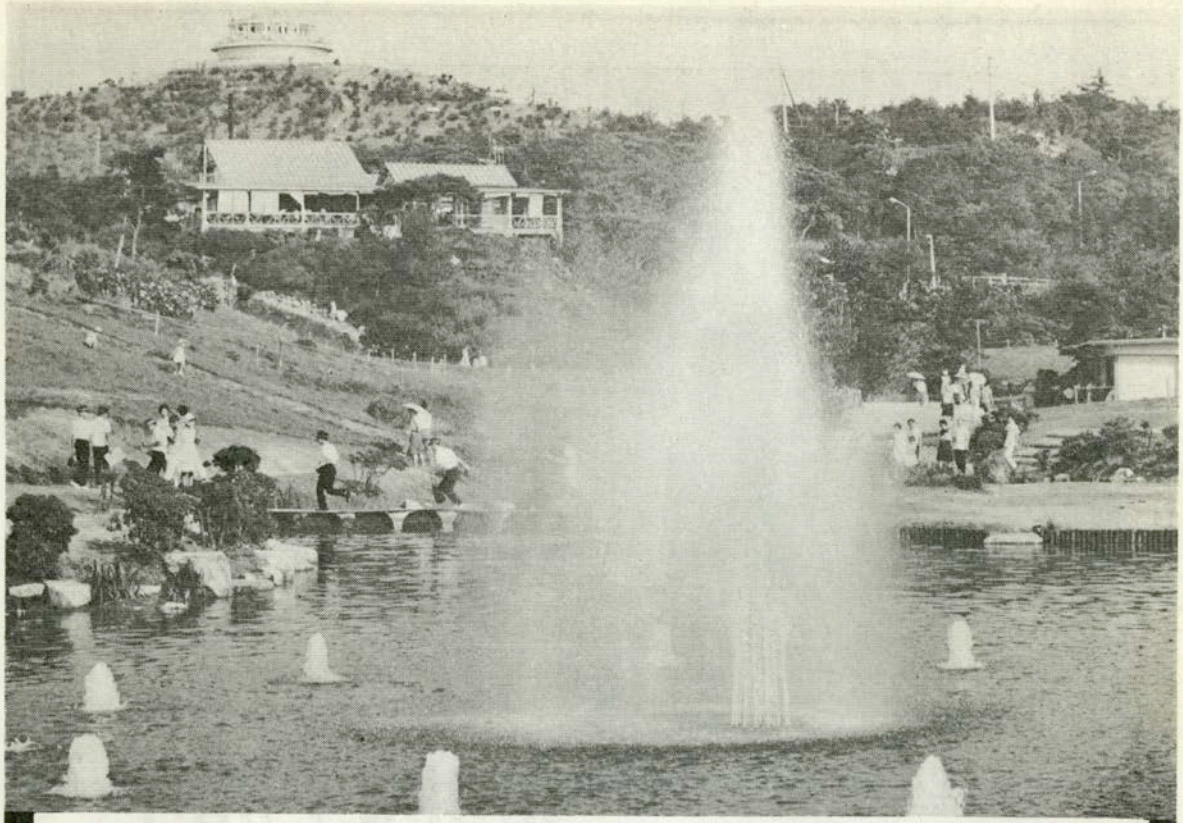
方向磁針は三〇〇円～三、〇〇〇円。高度計は五、〇〇〇米まで計れるもの六、五〇〇円。ドイツ製一五、〇〇〇円。歩数計は歩くときの体の震動を利用して歩数を計るもので、十万歩まで計れるものが七、五〇〇円。双眼鏡は倍率八×三〇くらいのものが手頃でしょう。お値段は三、五〇〇円～七、〇〇〇円。小型をお好みの方にはスポーツ・グラスがよろしいでしょう。六甲山ぐらい、と、山を甘くみないで、チョッとした用具をもって行かれると、また格別の楽しみが味わえるというものです。

ワイングラスに映える百万ドルの夜景

RESTAURANT-CLUB **MOON LIGHT**

酒と料理のクラブ
ご宴会・ダンスパーティにも
どうぞ〈お一人千円より〉

7～8月中正午より午後12時まで
六甲オリエンタルホテル北 100m
TEL 〈89〉 0497



国立公園 六甲山

山上随一の
レクリエーションセンター

六甲山カンツリーハウス

高山植物園 阪神貸山荘 凌雲荘 六甲山ハウス 回る十国展望台

□阪神電車各駅からご便利な連絡乗車券発売

阪 神 電 車